

経済教育常任委員会行政視察報告書

視察参加者

加納洋一 三輪寿子 嶋内九一 中山勝子 石田浩司
教育委員会事務局長 水野高明 議会事務局 松田直美

1 日目視察報告

場 所 茨城県つくば市 電子黒板の機能と活用について
日 時 平成21年10月13日(火) 14:00から16:00
担当者 議会事務局長 高田 清 議会事務局係長 飯島 浩
教育委員会指導主事 毛利 靖

電子黒板の機能と活用について

内容について別添

所感

つくば市は昭和52年よりコンピュータ教育は行われており ITC (Information and Communication(s) Technology) 教育の先進自治体である。電子黒板については、6年前から5校に導入されており、さまざまな事例紹介があった。基本配置は学校一台で、ITスタッフ3名(年間1000万)が電子黒板を使えるよう教師に指導を行っている。あくまでも電子黒板は道具の一つであり「子供たちに分かりやすく、学習意識を持ってもらう為のもの」である。今後の課題は、使う側の教師の意識改革を必要とすること、機器更新などの予算を工面することである。

視察では実際の電子黒板を目にすることはできなかったが、実際に体験できたらよさがもっとよさが理解できたと思う。

視察風景



2日目視察報告

場 所 東京都北区 校庭の芝生化の現状と課題について
日 時 平成21年10月15日(火) 10:00から11:30
担当者 教育委員会事務局次長 内田 隆 議会事務局次長 田中一正
学校改築施設管理課 係長 毛塚 裕之 主査 小谷野 学
堀船小学校副校長 藤原一郎

校庭の芝生化の現状と課題について

内容について別添

所感

北区は学校整備方針の中の「グラウンドと屋外空間について」で「校舎との連携」「グラウンドのほこり対策」「学校開放」の3つを上げ取り組んでいる。校庭の芝生化には、「子供たちの体カアップ」「都市のヒートアイランド抑制」「学校開放によるグラウンドの使用(サッカー・野球など)」の視点で導入されており、東京都が要件さええば全額補助の政策をとっている。今回視察した堀船小学校は、平成17年に施工され現在4年が経過。施工当時は芝がうまく根付かなく苦労をされているが現在は写真の通りである。芝の管理体制は、地域・PTAなどで結成をされている「堀船みどりのふなっこ隊」が行っており、また、専門業者の管理(年間180万)も必要で施肥や殺菌剤散布など行っている。

校庭の芝生化には、管理体制の構築が必要で地域・PTAなどの協力が不可欠である事、また、予算的にも費用がかかるので市単独ではなく、県や国の補助が必要であると感じた。

視察風景

